

小田原稲門会主幹で県支部大会

当会からは22名が参加

平成24年度早稲田大学校友会神奈川県支部大会が去る11月17日(土)に小田原稲門会主幹により湯本富士屋ホテルで開催された。小田原稲門会河田会長の歓迎の言葉で始まった大会は佐藤支部長挨拶、早稲田大学鎌田総長挨拶と続き、議事に入った。

今回は「神奈川県支部会則」制定の議案があったが満場一致で承認された。引き続き講演会に入り「いま、戦国武将から学ぶ一北条早雲とその周辺」という演題で静岡大学名誉教授の小和田哲男氏(早稲田大学大学院文学研究科修了)の講演があった。氏はNHK『その時歴史が動いた』の時代考証を監修されているその道では名の通った方で、なかなか耳にすることの出来ない貴重な戦国武将の逸話を興味深く拝聴させて頂いた。

そして最後は待ちに待った懇親会。今回は賛助商議員・賛助代議員への記念盾の授与式があり、当

会から大橋賢三郎、川鍋健次郎、国方昇氏が賛助商議員に、斉藤安功、柏木久雄、飯田善一氏が賛助代議員として顕彰された。

ホテル自慢の美味しい料理に舌鼓を打ちながら歓談を続けているといよいよアトラクションの始まりです。小田原稲門会の3人娘?によるマリンバ、バイオリン、ピアノ演奏を楽しんでいるうちにいよいよ校歌斉唱の時間となり、黄金色の大会旗は次回開催の主幹「三浦横須賀」に引継がれて閉幕となった。

当会からの出席者は次の通り。

大橋賢三郎、川鍋健次郎
吉成征一、中島久雄、鈴木清一
柏木久雄、飯田善一、二見正春
伊保朝夫、斉藤安功、古座野隆
草山洋一、朽木達、内藤誠一
野中誠、川口繁男、堀美知子
八牧尚子、中川匡子、赤石智子
杉崎文男、東方勝彦
(S45法 伊保朝夫)

早稲田大学商議員及び校友会代議員を選出

改選期を迎えた早稲田大学商議員と校友会代議員について、選考委員会を経て、4月の幹事会で次の通り選出された。

- * 任期満了で退任する商議員
大橋賢三郎 相談役 (S28政経)
国方昇 顧問 (S32教育)
川鍋健次郎 前会長 (S29文)
 - * 新商議員
吉成征一 会長 (S35文)
柏木久雄 副会長 (S38法)
飯田善一 副会長 (S39商)
 - * 校友会新代議員
鈴木清一 副会長 (S37理工)
二見正春 副会長 (S39政経)
横田佳正 会計監査 (S38商)
熊坂弘久 幹事 (S38法)
古座野隆 常任幹事(S48政経)
- 両議員ともに任期は平成24年6月から4年間。(S37理工 鈴木清一)

厚木稲門会ホームページ * 10月より全面的に更新 *

厚木稲門会のホームページは、その内容の充実を図るべく努力しておりますが、当会会員が活動している文化活動、NPO等の公式サイトへのリンクを10月より開始した。また、総会や慶応厚木三田会との合同懇親会の様子、ゴルフ、テニス、囲碁、カラオケなど各同好会の活動内容も逐次更新している。是非一度「厚木稲門会」で検索し、当会のホームページをご覧ください。(S44理工 武内晃)

扉座(横内謙介氏)が2つの新作を発表

文化会館芸術監督としての手腕にも大きな期待

当会会員である劇団扉座・横内謙介氏は平成11年より厚木シアタープロジェクトを展開中。今年は6月30日・7月1日『つか版・忠臣蔵 厚木あゆこロ篇』、10月13日・14日『人情噺 端敵・天下茶屋』の2つの新作が発表された。『つか版・忠臣蔵』は東京公演を観た幻冬舎・見城社長が自身のブログで作品演技ともに大絶賛!東京公演のチケットの買えないファンが大挙して厚木へ流れた程の大反響で、早速来年2月に再演が決定している。

『天下茶屋』はTVでも人気の六角精児氏が多忙なスケジュールを縫って出演。厚木高校出身の岡森諦氏(写真左から2人目)と六角氏の両看板が久し振りに揃っての熱演であった。



厚木シアタープロジェクトの一環である『あつぎ舞台アカデミー』では、昨年に続いて『ドリーム・ドリーム・ドリーム2』の公演が9月1日・2日に行われたが、選抜された小中学生の出演者は昨年よりも更に表現力に磨きをかけ、満席の観客を魅了した。現在、横内氏は厚木市文化振興財団の芸術監督を務め、厚木市の上質の文化創造に向けてその手腕が期待されている。(S62政経 藤野心)

日本語ボランティア * 会活動活性化の一環 *

4月から厚木市内で外国人のための日本語教室の講師として会員の二人がボランティア活動をしている。これは会活動活性化の一環として社会貢献活動をしているというなかから始まったもの。二人が受持っているグループの生徒はベトナム、インド、タイ、韓国等様々だが、懸命に日本語を学ぼうとする姿に、このボランティアを始めて良かったと実感している。(S39政経 二見正春)